

日本郵船株式会社が発行する 「トランジションボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、日本郵船株式会社（以下「本法人」）が発行する第 44 回無担保普通社債（トランジションボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021 年 7 月 29 日）。

「トランジションボンド」とは、企業の温室効果ガス排出削減に向けた長期的な移行（トランジション）戦略に則ったプロジェクトへの投資を用途とする債券のことです。

本法人は、2018 年に海運業界で世界初のグリーンボンドを発行しており、本債券は国内初のトランジションボンドとなります。本法人は本債券の発行により調達する資金を、洋上風力発電支援船、アンモニア燃料船、水素燃料電池搭載船、LNG 燃料船、LNG 燃料供給船、LPG 燃料船、運航効率化と最適化のために充当します。

トランジションボンドの発行にあたって、「グリーンボンド原則 2021（ICMA）」、「環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版」、「クライメート・トランジション・ハンドブック 2020（ICMA）」および「金融庁・経済産業省・環境省クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針（2021 年 5 月版）」に基づくグリーン/トランジションボンド・フレームワークを策定し、それらへの適合性に関して、独立した外部機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上